

千代田町総合保健福祉センター 12月1日オープン

始動 健康な暮らしの拠点



千代田町総合福祉センターを改修増築した総合保健福祉センターが12月1日、オープンする。生まれ変わる施設は「健康で安心し暮らせるまちづくり」を実現し、町民の生活を保健・医療福祉の視

点でサポートする拠点を設け、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集い、明るく健康な日々を送れるよう支援するだけでなく、新たな交流を生み出すなど、さまざまな役割が期待されている。

保健センターは1985年、総合福祉センターは95年に竣工。ともに建て替えを検討する時期となっていた。2018年4月に検討委員会を立ち上げ19

年12月に個別施設計画を策定。20年12月に着工、今年9月に完成した。新たにオープンする総合保健福祉センターは一部2階建てで、総床面積は約2400平方メートル。保健センター部分を増築したほか、内装を全て一新した。施設内の随所に木材を使用し、木のぬくもりを感じられる施設に生まれ変わった。

1階には各種健診や妊産婦・乳幼児保健、児童福祉(こども園)予防接種子育て支援などを担う町健康子ども課、高齢者福祉や介護保険、地域包括支援センター、障がい者福祉などを担当する町住民福祉課、地域福祉サービスやシルバー人材センターなどを担当する町社会福祉協議会などが入る。新たに調理室や研修室を設けたほか、プレイルームや浴室もリニューアル。浴室の出入り口付近に畳敷きの「湯上がりコー



ふれあいホール



調理室



浴室



プレイルーム(児童センター)



健診室



「医療過疎地」と言われることもある東毛地域ですが、町内外の医師に健診などをお願いし、それがきっかけで開業を検討される方がいらしたら、は町として支援、医療



総合福祉センターの複合化は、都市計画道路延伸による保健センター移動の検討がきっかけでした。議論の末、老人福祉センターと児童センター、福祉作業所が併設されている総合福祉センターに、町民の健康づくりを推進する保健センターを加えて活用、業務効率化と施設長寿化による財政負担軽減を図ることとしました。

「幅広い世代が楽しめる施設」 千代田町長 高橋 純一

ふれあいホールは、千代田町出身の書家・故関口虚想さんと町内で創作に励んでおられる画家・田島功一さんの作品を飾るギャラリーとしても利用。もちろん町民の作品発表の場としても利用いただけます。

体制の充実につなげたいと思います。子育てに関する、出産後の支援だけでなく、出産前から子育てまで一貫してサポートする拠点となることを期待しています。

千代田町総合保健福祉センター
■住所■ 千代田町赤岩2119-5
■開館■ 8:30~17:15
■休館日■ 土日・祝日・年末年始
■問い合わせ■
・健康子ども課 ☎0276・86・5411
・住民福祉課 ☎0276・86・7000
・社会福祉協議会 ☎0276・86・6181

Design and construction partners including A.P.S. (Ark Planning Design Office), Shinko Construction Co., Ltd., and Sekiguchi Construction Co., Ltd.

Local support campaign 'Gunma Ai 2021' sponsors including various banks, insurance companies, and local businesses like Aioi Credit, Kirin, and Dai-ichi Life Group.